

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公表番号】特表2002-534520(P2002-534520A)

【公表日】平成14年10月15日(2002.10.15)

【出願番号】特願2000-593605(P2000-593605)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/41 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 K 31/422 (2006.01)

A 6 1 K 31/4245 (2006.01)

A 6 1 K 31/427 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/473 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/497 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

C 0 7 D 403/06 (2006.01)

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

C 0 7 D 403/14 (2006.01)

C 0 7 D 405/14 (2006.01)

C 0 7 D 409/14 (2006.01)

C 0 7 D 413/14 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/14 (2006.01)

C 0 7 D 491/052 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 401/06

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/422

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/427

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/473

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/497

A 6 1 P 15/10  
 A 6 1 P 25/08  
 A 6 1 P 25/14  
 A 6 1 P 25/16  
 A 6 1 P 25/18  
 A 6 1 P 25/20  
 A 6 1 P 25/22  
 A 6 1 P 25/28  
 C 0 7 D 401/12  
 C 0 7 D 401/14  
 C 0 7 D 403/06  
 C 0 7 D 403/12  
 C 0 7 D 403/14  
 C 0 7 D 405/14  
 C 0 7 D 409/14  
 C 0 7 D 413/14  
 C 0 7 D 417/12  
 C 0 7 D 417/14  
 C 0 7 D 491/052

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年7月12日(2010.7.12)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

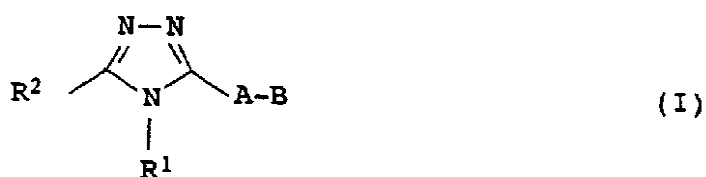
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一般式 I

【化1】



[式中、

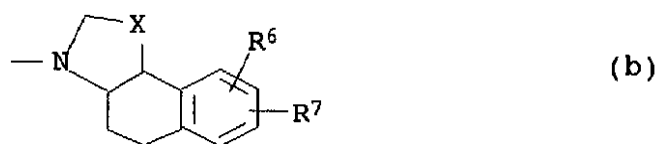
$R^1$ はH、 $C_1 \sim C_6$ -アルキル又はフェニルを表し；

$R^2$ はH、 $C_1 \sim C_6$ -アルキル、フェニル、チエニル、フラニル、テトラゾリル、ピロリル、チアゾリル又はピラジニルを表し；

Aは1個の二重結合を有していてもよい $-S C_3 \sim C_{10}$ -アルキレンを表し；

Bは次の式 (b)

【化2】



(式中、Xは $CH_2$ を表し；

$R^6$ 及び $R^7$ は相互に無関係にH、 $C_1 \sim C_6$ -アルキル及びハロゲンから選択される)の基

を表す] のトリアゾール化合物並びにその生理学的に認容性の酸との塩。

【請求項 2】  $R^1$  が  $C_1 \sim C_6$ -アルキルを表し、  
 $R^2$  はフェニルを表し、  
 $A$  は  $-S C_3 \sim C_{10}$ -アルキレンを表し、及び  
 $R^6$  及び  $R^7$  は H、 $C_1 \sim C_6$ -アルキル及びハロゲンから選択される、請求項 1 記載の式 I の化合物。

【請求項 3】  $A$  は  $-S (CH_2)_3$ -アルキレンを表す、請求項 1 又は 2 記載の式 I の化合物。

【請求項 4】  $R^1$  はメチルを表す、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の式 I の化合物。

【請求項 5】 請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の少なくとも 1 種の化合物を、場合により生理学的に許容可能な担持剤及び／又は助剤と一緒に含有する医薬品。

【請求項 6】 心臓循環系ならびに腎臓の病気、精神分裂病、感情障害、神経症性のストレス障害、身体病的障害、精神病、パーキンソン病、注意欠陥障害、子供の多動症、てんかん、健忘性障害及び認知障害、不安状態、痴呆、譫妄、人格障害、睡眠障害、性生活の障害、摂食障害及び中毒症から選択される疾患の治療のため、並びに卒中発作の治療のための医薬品の製造のための、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の少なくとも 1 種の化合物の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

本発明による化合物は、選択的なドーパミン- $D_3$ -レセプターリガンドであり、該化合物は脳辺縁系において領域選択的に作用し、かつ  $D_2$ -レセプターに対するそのわずかな親和性に基づいて、古典的な神経弛緩薬である  $D_2$ -レセプターアンタゴニストよりも副作用が少ない。従って該化合物は、ドーパミン- $D_3$ -リガンドに対して反応する疾患の治療のために効果的であり、この場合、ドーパミン- $D_3$ -レセプターに影響を与えること（変調）は、病気の改善又は疾患の完治につながる。このような疾患は例えば、心臓循環系ならびに腎臓の病気、中枢神経系の病気、特に精神分裂病、感情障害、神経症性のストレス障害及び身体病的障害、精神病、パーキンソン病、注意欠陥障害、子供の多動症、てんかん、健忘性障害及び認知障害、例えば学習障害及び記憶障害（認識機能欠陥(impaired cognitive function)）、不安状態、痴呆、譫妄、人格障害、睡眠障害（例えば不穏脚症候群）、性生活の障害（男性のインポテンス）、摂食障害及び中毒症である。さらに卒中発作の治療が考えられる。